



かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

令和8年5月29日

地域版

6月号



㊦感じる心たいせつに ㊧みんなの心、みとめあい ㊨せいっぱい ㊩やってみよう やりとげよう

自分で守ろう自分の命 みんなで守ろうみんなの命

副校長 渡邊 忠洋

新緑のまぶしい季節から、まもなくしっとりとした雨の季節への移り変わりを告げる6月を迎えます。今年の5月は例年のない高温で、一気に夏の訪れを感じさせる陽気が続きました。そんな異常な気候には負けず、子どもたちは新しい学年やクラスにすっかり慣れ、毎日元気に学校生活を送っています。この時期に改めて大切にしたいのが「交通安全」です。雨の日は傘で視界が悪くなり、車の運転手からも子どもたちの姿が見えにくくなります。子どもたちは日々の登下校をはじめ、地域の中で多くの時間を過ごしています。慣れた道であっても、交通状況はいつも同じとは限りません。ちょっとした油断が、大きな事故につながる危険性もあります。



先日、交通安全教室が行われました。この日は、全学年、交通安全についてそれぞれのクラスで学習をしました。特に1年生と4年生は瀬谷区交通安全協会や瀬谷警察署の方々のご協力のもと、校庭で実際に活動しながら学習させていただきました。1年生は道路の安全な歩き方や自動車の死角について、4年生は自転車の点検方法や安全な乗り方などを中心に教えていただき、普段の自分を振り返るきっかけとなりました。

この交通安全教室を行うにあたり、瀬谷区交通安全協会や瀬谷警察署の方々だけでなく、「かみせやしょうサポーターズ」から本部やあんぜんさぼ(校外委員会)のみなさん、ボランティアの保護者の方々のご協力がありました。自転車の乗り方の見本を見せていただいたり、子どもたちの活動の際にそれぞれのポイントに立って声掛けをしていただいたりしました。子どもたちはまず正しいルールや知識を理解し「自分の命は自分で守る」ことが大切です。しかし、その自分の命はたくさんの方の見えない支えによって守られています。今回の交通安全教室でご協力いただいたみなさんはもちろん、登下校では上瀬谷キッズ学援隊や地域のみなさんに見守られています。「自分の命は自分で守る」ことが「みんなの命をみんなで守る」ことにつながることで、そして、多くの方々に「みんなの命」を大切に見守っていただいていることに少しずつ気付いていってほしいと願っています。

地域の方から子どもたちの自転車の乗り方等についてご心配の声を多数いただいております。交通安全は、学校での指導だけで完結するものではありません。ご家庭でも、お子さまと一緒に通学路の危険な場所を確認したり、雨の日の歩き方について話し合ったりしていただければ幸いです。地域の皆様、保護者の皆様の温かい見守りを、今月もどうぞよろしくお願いいたします。